

02. » 株式会社 マシンマックス

依存率を高めずにリスク分散 商談会を活用した受注拡大で業績を伸ばす

働きやすい環境を作り
信頼される企業を
目指し続ける



代表取締役社長 大塚 裕之

株式会社 マシンマックス
〒015-0067
由利本荘市三条字蒲田19-4
TEL:0184-23-4348
FAX:0184-24-4988
<https://machinemax.co.jp/>



HP



健全な経営のため、リスクを徹底分散

由利本荘市三条に工場を構える株式会社マシンマックス。もともとは電子部品製造からスタートしたが、現在は工作機械による精密機械の部品製造組立を主な事業としている。今年49期目を迎え、3月には東京中小企業投資育成株式会社からの出資を受けて資本金を増資したばかりだ。代表を務める大塚裕之さんは、2年前に先代から事業承継して代表取締役に就任。およそ30年に渡る同社での経験を活かしてその手腕を発揮している。

敷地内には第1から第4までの工場が建ち並び、最新鋭の工作機械を50台ほど備えている。マシニングセンターが24台、平面研削盤4台を主力マシンとして、20年以上夜勤体制で稼働し、近隣の20社程度の協力工場とも連携する体制を取っている。強みは、幅広いジャンルに対応できること。20年前は1社に対する依存率が80%という時代もあったものの、10年ほど前からリスク分散の必要性を感じ、バランスを取るためにさまざまな設備導入を行った。



本社の最も新しい第4工場は敷地面積も広く、最新鋭の大型工作機械が備えられている。



2名のパート社員を雇用し、日勤社員の昼食や、夜勤社員の夜食を用意。社員は200円で利用できる。



品質の最終点検となる検査室。図面のとおりに仕上がっていいるかをチェックする。

社員や地域に還元すれば、お客様に信頼される

自動車の電動化部品の生産設備を主体とし、包装機械、食品飲料機械、半導体装置、液晶装置、真空装置、印刷機、紙工機械、電線製造機械、端子圧着機、基板実装機、産業機械、工作機械、ロボット、真空チャック、船舶部品、自動化省力化機械など対応できるジャンルは多岐にわたる。新規取引は商談会を通じたものが多く、昨年10月秋田市で開催された「あきたモノづくり商談会」に参加した際は、岩手県の発注企業2社との成約を取り付けた。

昨年1年間で若い社員が10名増え、生産体制も強化。人員を増やすことで残業を減少し、社員食堂を完備するなど、福利厚生にも力を入れている。従業員が働きやすい環境を作ることで、地域にも還元することができ、結果として信頼される企業になることができると語る大塚社長。マッチングの機会を最大限活かすため、自社の足場をしっかりと固めて強い企業を作る。大塚社長の言葉には、明確なビジョンと信念が込められている。

▶活用事例 取引のあっせん

県内ものづくり企業の取引拡大のため、首都圏および東北地区担当のアドバイザーによる発注案件の開拓や取引のあっせんを通じてマッチングの支援を行います。

[お問い合わせ] 経営支援部 取引振興課 TEL. 018-860-5623